

地域おこし協力隊 奮闘記 Vol.20

今月は
佐々木正志が
書いています



写真DEロゲイニングとは

地図をもとにチェックポイントを回り、得点を集めるスポーツです。チームごとに作戦を立て、チェックポイントでは指示どおりの場所（風景・建物等）を撮影します。制限時間内にゴール地点に戻って結果を提出します。

楽しみ方はそれぞれで、ゆっくりお喋りしながら気軽に楽しむのもよし、高みを目指して獲得点数を競うのもよし。誰でも楽しめる新感覚のスポーツです。

こんにちは。観光部門の地域おこし協力隊・佐々木正志です。協力隊に就任して早や9か月、町内を巡る中で、この地には過去から蓄積された「地域のお宝」がたくさんあることを知りました。歴史ある神社仏閣、この町ならではの食、田舎を感じられる道の観光ガイドには載っていない風景。そんな「地域のお宝」を集約して形にするものがあるれば、と思っていました。

まさにそう感じていた時に、地域住民と大山の観光に

ついて考える大山ツーリズム協議会で『写真DEロゲイニング』が話題になりました。「地域のお宝を形にできる最高の方法だ」と熱い想いで語ってくださった会員の舩越さんの一言がきっかけで、「大山町でもやってみたらどうだろう」と話し合いが一気に加速したのです。

まずは、やってみよう

ロゲイニングのイメージをつかむために、他地域で行われている大会に参加してみました。そして町内でのチェックポイント探しを同時進行で始めました。

メインステージを中山エリアに決め、自分たちの知っている場所・風景の洗い出しから始めてチェックポイントの決定に試行錯誤。協議会の皆

▶チェックポイント一覧表



▲チェックポイントの春日神社でパチリ

さんと一緒に朝から夕方暗くなるまで現地確認をし、私は地図づくりやゴールモニUMENTづくりを担当しました。「これはいける！」と手応えを感じながら、イベント開催に向けての作業は文化祭準備のようなワクワク感でいっぱいでした。

11/22 写真DEロゲイニング in なかやま開催!!

当日は、発着点となる中山温泉館ナスパルに、県外者5人を含む21人の参加者が集まりました。

終了後のアンケートでは、

「中山の風景をじっくりと観ることができた」「ウォーキングにゲーム性が加わり、楽しかった」「大山町のことを知ることができ、いい写真も撮れて観光客向けのイベントにぴったりだと思った」など好意的な感想を多くもらいました。

町内の方にとっては自分の町をより深く知るきっかけに、町外の方にとっては、イベントから大山町を知るきっかけになることを感じました。

実験に行ったイベントでしたが、ウォーキング、サイクリング、婚活、歴史、絶景、グルメなどいろいろなものとの組み合わせの可能性も見えてきました。何より大きかったのは、大山ツーリズム協議会のみなさんが、大山の魅力を伝えるにはどうすればいいのかを考え、実際に行動に移したことに尽きます。これに未来につながっていくのではないのでしょうか。

私も大山町の魅力を伝えるため、どんどん実行に移していきたいと思えます！